

研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： 教育エビデンスエコシステムの構築

2. 個人研究者名

黒宮 寛之（京都大学 大学院情報学研究科 大学院生）

3. 事後評価結果

本研究では、日常の学習ログを収集し、教育効果をエビデンスデータとして保存し、教育向けのポータルサイトを通じて共有するエコシステムを構築した。夏休みの宿題への取り組みタイミングなどをクラスタリングし、夏休み明けの成績との相関関係を示す分析結果にはインパクトもあり、十分な研究成果といえる。

教育現場への AI 導入は、プライバシー保護や教諭との信頼関係の醸成などが困難で、効率化し難い問題があるが、これを一つ一つ解決した。特に、エコシステム構築は事例数が少ないなかで、協調フィルタリングのアルゴリズム実装に成功している。また、社会発信として、学習エビデンス分析システムの代表例である LEAF SYSTEM のメタ分析システムにおいて、活用事例集や情報を展開したことは評価できる。さらに、ハードルの高い教育分野において、発話ログなどをデータとして取り込み、深層学習による授業映像の分析でも成果をあげた。

授業情報登録からセンシング比較をもとにデータベースに蓄積し、他事例と比較するという分析フローの標準化に成功しており、教育分野において代表者の提案するエビデンス抽出の自動化が、今後、学習管理システム（LMS）と結びつけば、総合的な教育管理向けポータルサイトとしての公開や自動採点システムの構築によるエコシステムは大きな革新を実現できる可能性を有している。